

科目名		授業形態	担当教員名	
人間発達学		講義	山本 美穂子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
この講義では、生涯発達という視点から人を理解することを目指す。 また、作業療法士として子どもが示す状態像が年齢相応のものであるかどうかを判断するために必要となる各発達段階における発達課題を理解する。				
授業の到達目標				
1. 原始反射を説明できる。 2. 姿勢反射を説明できる。 3. 姿勢・移動動作の発達を説明できる。 4. 目と手の協調の発達を説明できる。 5. 発達段階における認知機能の特徴を説明できる。 6. 幼児期の社会性の発達を説明できる。 7. 発達検査の名称を挙げ説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	授業オリエンテーション 人間発達とは？ 発達段階について			
2	胎生期と新生児期			
3	原始反射と姿勢反射			
4	乳児期の発達（前半）			
5	乳児期の発達（後半）			
6	乳児期の発達のまとめ（ビデオ）			
7	運動発達、手の発達			
8	幼児期の発達			
9	項目別発達（運動、社会性）			
10	項目別発達（言語、認知）			
11	観察・演習①			
12	観察・演習②			
13	観察・演習③			
14	観察・演習④			
15	発表・まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%	小テスト、国家試験問題などを参考にする		
レポート	30%	各授業での課題、および観察・演習結果レポート		
小テスト	10%	原始反射、運動発達など		
平常点	10%	授業態度・出席状況		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
コメディカルのための専門分野テキスト 人間発達学 第5版	福田 恵美子		中外医学社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				